

コード No. 28069

**Anti-Rat
LRG (128) Rabbit IgG Affinity Purify**

容量 : 100 µg

- はじめに : 歩行障害、認知症などの症状を示す高齢者の特発性正常圧水頭症(iNPH)と鑑別すべき疾患の中には、アルツハイマー病、前頭側頭葉変性症 (FTLD)、パーキンソン病関連疾患などの神経変性疾患があります。iNPH は脳室腹腔短絡術により治療することが可能であるので、早期に神経変性疾患と鑑別可能な髄液マーカーが求められてきました。新井、宮嶋らは、iNPH の脳脊髄液中に leucine-rich alpha-2-glycoprotein (LRG)が高濃度に存在していることを同定し、その測定が iNPH の鑑別に有用であると報告しています。
本抗体は、ラット脈絡叢細胞と上皮細胞の cilia を特異的に染色することができます。
- 免疫抗原 : Rat LRG の部分合成ペプチド (LVLRENQLQEASARWLQG)
- 精製方法 : 抗原ペプチドによる特異精製
- 包装形態 : 1 % BSA、0.05 % NaN₃ 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥
- 再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加(この時濃度は 100 µg/mL となります)
- 保存方法及び安定性 : 2 ~ 8 °C 保存 5 年間安定
: 溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定
- 使用目的及び使用方法 : 免疫組織染色 1~5 µg/mL にて使用可能
(ホルマリン固定・パラフィン包埋切片、前処理なし)
蛍光染色 1~5 µg/mL にて使用可能
(凍結切片 30 µm スライス、2 次抗体 Alexa488)
: ウェスタン・ブロッティング 1~5 µg/mL にて使用可能
- 特異性 : Rat LRG に特異的。
- 参考文献 : 1. Lins H, Wichart I, Bancher C, Wallesch CW, Jellinger KA, Rösler N. Immunoreactivities of amyloid beta peptide((1-42)) and total tau protein in lumbar cerebrospinal fluid of patients with normal pressure hydrocephalus. J Neural Transm. 2004 Mar;111(3):273-80.
2. Li X, Miyajima M, Mineki R, Taka H, Murayama K, Arai H. Analysis of potential diagnostic biomarkers in cerebrospinal fluid of idiopathic normal pressure hydrocephalus by proteomics. Acta Neurochir (Wien). 2006 Aug;148(8):859-64.
3. 宮嶋雅一, 正常圧水頭症の髄液動態検査, Clinical Neuroscience. 24(11): 1259-1262, 2006
4. 宮嶋雅一、李仙鋒、新井一, 特発性正常圧水頭症における髄液のプロテオーム解析-Leucine-rich α-2-glycoprotein (LRG)を中心に-医療 60(7):438-441,2006
5. 中島 円、宮嶋 雅一、野中 康臣、荻野 郁子、新井一、順天堂大学医学部 脳神経外科、『Leucine-rich α-2-glycoprotein (LRG)の正常圧水頭症における役割』第 9 回日本正常圧水頭症研究会プロシーディング